

○ラジコンヘリによる共同防除

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県伊予市 栗田中央			
協定面積 7.1ha	田 (40%)	畑 (60%)	草地	採草放牧地
	水稻	果樹・野菜		
交付金額 81万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農地管理費		19%
		役員報酬		11%
		道・水路管理費		12%
		その他	8%	
協定参加者	農業者 18人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	作成していない			

2. 取組に至る経緯

栗田中央集落は、農業者の平均年齢が70歳を超える高齢集落である。集落内に流れる栗田川にはホタルが群生し、土手には樹齢数十年の桜の巨木が立ち並ぶ緑豊かな美しい自然が残っている。しかし、どの家庭にも後継者がおらず、今後も集落活動を維持することが困難になりつつある。このような中、将来にわたり豊かな自然と農地を守り後世に残すため、平成12年度から中山間地域等直接支払制度を活用し地域全体で集落環境の保全に取り組んでいる。

3. 取組の内容

農業生産活動では、農業者の高齢化による作業の負担を軽減するため、JAと連携しラジコンヘリによる水田の共同防除作業を集落全体で実施している。また、畑作では、山菜(フキ、ゼンマイ、ワラビ)等の軽量野菜の導入を進め、高齢者でも持続可能な農業生産を目指している。

集落環境を維持するための取組としては、自然環境を保全するため、道路・河川の清掃や草刈り、景観作物の作付けと併せて、桜の開花時期には樹木のライトアップを行うなど集落内の景観美化に努めている。



【総会】



【ヘリによる共同防除】

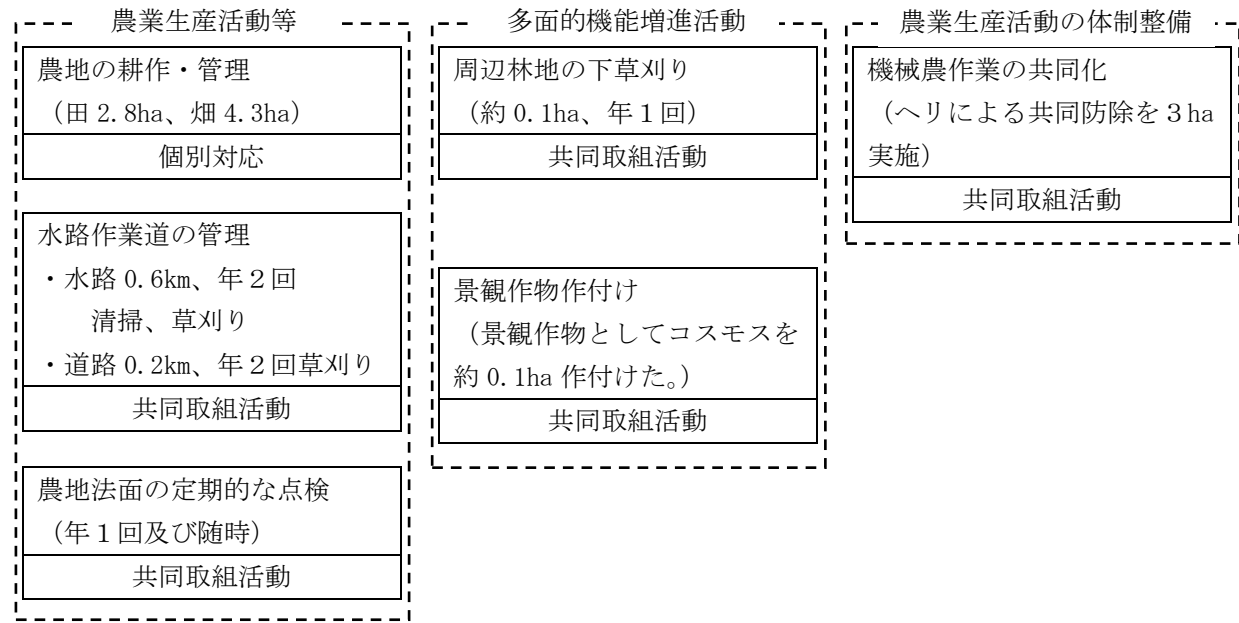
【集落の将来像】

- 地域住民が交流を深め、相互に協力し支え合いながら持続的な集落活動を行うことにより、耕作放棄地の発生を防止し豊かな自然環境を維持する。



【将来像を実現するための活動目標】

- 住民相互の連携を深めるため、集落内での意見交換会を実施する。また、高齢農家の作業負担を軽減し持続的な農業生産活動を行うため、作業の共同化、効率化を図る。



集落外との連携

- J A えひめ中央と連携し、農作業の共同化や軽量作物の導入等高齢者が持続可能な農業生産活動を進めている。

4. 今後の課題等

農業者の高齢化と併せ市街地への人口流出が進み、深刻な後継者不足となっている。集落内の豊かな自然環境を保持するとともに、将来にわたり農業生産活動を継続するため、集落全体で定年帰農者等の就農支援、育成を行い、新たな担い手を確保する必要がある。

【第 2 期対策の主な成果】

- 多面的機能の持続的発揮に向けた他集落等との連携 (1 件)
- 加工品販売 (シイタケ)
- 農道管理 (0.2km)
- 水路管理 (0.6km)
- 水路補修 (2か所)